

パナソニック電工 汐留ミュージアムで開催中
バウハウス・テイスト バウハウス・キッチン展 Bauhaus Taste—Bauhaus Kitchen



ルチア・モホリ＝ナジ《グロピウス邸のキッチン》



リス・ヴォルゲル
《バウハウス・ワンピース》
1928年



ゲルハルト・マルクス
《コーヒーメーカー》
1925年頃



《マイスターハウスの
使い方[フィルム]》
1926年

写真：すべてデッサウ・バウハウス財団蔵

入館料／一般：700円 65歳以上：500円
 大学・高校生：500円 中・小学生：300円

◎「バウハウス・テイスト バウハウス・キッチン」展の特別料金です。

◎20名以上の団体：各100円引（65歳以上は除く）

◎障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで：無料

主催：パナソニック電工 汐留ミュージアム、朝日新聞社

後援：ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター、港区教育委員会、D8

企画協力：デッサウ・バウハウス財団

協力：日本パウル・クレール協会

■ 今後の展覧会予定

白井晟一 精神と空間 Seiichi Shirai Retrospective



白井晟一
1978年
©Keiichi Tahara
©白井晟一研究所

2011年1月8日(土)～3月27日(日)

哲人あるいは詩人と呼ばれ、生前から神話化されていた建築家、白井晟一(1905～1983)。モダニズム建築全盛の風潮に背を向け、初期の木造作品から黙示的な原爆堂計画、また代表作の親和銀行本店においても、象徴的で物語性に満ちた形態と光に特徴づけられる独自の建築を生み出しました。建築作品から書、装幀、エッセイを星座のように配列し、白井晟一の世界模型を美術館空間の中に構築する初の展覧会です。

2010年12月12日(日)まで

1919年、ドイツ、ヴァイマールに誕生したバウハウス。「すべての造形活動の最終目的は建築である」という理念のもと、自己の表現だけに偏らず技術的な力も備えた芸術家を育てることを目的とした教育が施されました。設立当初、バウハウスの作品は表現主義的で合理的な側面を持ち合わせていましたが、その後、合理主義的な一面は保ちながら機械工業との融合を目指す大量生産を目的とした方向へと転換、モダンデザインの先駆者としてその名が知られることとなります。一方、近代ヨーロッパでは、家庭や社会における女性のありかたが大きく変化しました。フェミニズムが社会の潮流となり、社会生活での立場、権利、役割といったものが根本的に見直されるようになっていました。1920年代から第二次世界大戦にかけての家庭生活の現場では、女性の労働を少しでも改善しようとする道具、家具、機器、デザインが次々と開発され、現在にまで繋がる合理的生活スタイルの原型が提案されたのです。

機能的で無駄のないデザインから男性的であると捉えられることも多いバウハウスですが、多くの女子学生を採用するなど、女性躍進にも一役買っています。そういった動きの中で、バウハウスは女性を家事労働から解放するための、新たなキッチンとその周辺器具も提案していました。

本展では、そのようなバウハウスのキッチン関連の作品を紹介し、新しいデザイン、新しい女性像、新しい生活様式の歴史的意義を問い直そうとするものです。「キッチン」という身近なテーマにスポットライトを当てた今回の展覧会は、幅広い層の方々にバウハウスの理念や理想に親しんでいただく絶好の機会となるでしょう。

パナソニック電工 汐留ミュージアム

所在地 / 東京都港区東新橋1-5-1
 パナソニック電工本社ビル4階

開館時間 / 10:00～18:00 (ご入館は17:30まで)

休館日 / 月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

お問い合わせ / 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://panasonic-denko.co.jp/corp/museum/>

「パナソニックリビングショールーム 東京」において
2010年ミラノサローネ^{※1}期間中にミラノ市内に出展した空間を再現展示



人類の生活の根源である「洞窟」に見立てたインスタレーション展示



身振りで照明の点灯状況を変えるインタラクティブ操作



深澤直人氏のデザインによる照明器具「MODIFY」

2011年1月31日(月)まで

今年のイタリア・ミラノサローネ期間中にミラノ市内に出展し、ご好評をいただいた展示を「パナソニックリビングショールーム 東京」の1階コミュニケーションスペースにおいて、2011年1月31日(月)まで再現展示しています。当社は「快適」と「エコ」の両立を図った空間を創出して、2010年4月のミラノサローネ期間中、ミラノ市内ブレラ地区に空間展示を出展しました。展示コンセプトを『(standard)³ smart』^{※2}(スタンダード3乗スマート)として、当社ならではの幅広い製品群を、賢くスマートにコントロールすることで実現する「快適」と「エコ」をご体感いただきました。会場構成は、マルティノ・ベルギンツ氏により人類の生活の根源である「洞窟」に見立てたインスタレーション展示を実施。深澤直人氏との共同デザイン開発および監修による商品を含む、10アイテムを洞窟の中に散りばめて展示し好評をいただきました。今回は、その展示をアレンジして「パナソニックリビングショールーム 東京」に展示しています。身振りで照明を点滅させるインタラクティブ操作など、現地のイメージをコンパクトにアレンジして再現した空間をご覧くださいませ。

※1 ミラノサローネ(正式名称:Milano Salone del Mobile)とは、デザインと文化が交錯するイタリア・ミラノで毎年4月に開かれる世界最大級の国際家具見本市です。

※2 (standard)³(スタンダード3乗)とは、当社デザイン部が2008年度から継続して展開しているデザインコンセプトで 当社の多岐にわたるスタンダードとなる製品群を空間化(立体=3乗)して、ご提案することを意味しています。

パナソニックリビングショールーム 東京

所在地 / 東京都港区東新橋1-5-1
 パナソニック電工本社ビル

展示場所 / 1階コミュニケーションスペース

開館時間 / 10:00～18:00

休館日 / 水曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

お問い合わせ / 03-6218-0010

<http://panasonic.co.jp/showroom/tokyo/>